

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第11号
2011年4月10日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
〒千葉市中央区要町2-8 DC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

国鉄分割・民営化絶対反対！ 1047名解雇撤回！

新自由主義・震災解雇と闘う反失業大闘争を！

国鉄闘争全国運動6・5大集会

6月5日(日)午後1時(正午開場)

東京・日比谷公会堂へ大結集を！

3月29日に首都圏の呼びかけ人会議を、4月2日には6・5集会の実行委員会を開催しました。震災をどうとらえ、全国運動はどう闘うのか。動労千葉の田中委員長の提起(1面)と呼びかけ人の提起(2面)を掲載します。

国鉄闘争全国運動という形で闘いはじめて、その渦中で大震災が起きて、私は全国運動が決定的位置をもつようになったと考えています。私たちがこういふ情勢の中でも忘れちゃいけないことは、今年の2・16集会と活動者交流会で、国鉄闘争全国運動が本場に今の情勢とかみ合せて、階級的労働運動をわれわれの手で甦らせるんだっていう出発点を築いたということ。大震災後の情勢であってもこのことを絶対に忘れてはならないと思います。

今こそ国鉄闘争を

まずは3月29日に行われた首都圏呼びかけ人会議の討論を報告しておきたいと思えます。例えば、鎌倉孝夫さんは「震災によって起きている事態は国家と資本による犯罪なんだ」と言いました。その上で「全国運動は国鉄闘争の全国運動なのであって、私たちは全力を尽くして国鉄闘争をやっつけなければならぬ」と言っています。これは私も同じことを思っています。なんでもかんでも全部持ち込めばいいということでもない。国鉄闘争に絶対こだわってきた、それが足腰になり、基盤になるんだと。

その討論をつけて伊藤晃さん
がこう言っています。「国鉄闘争の論理というものが、今度の問題で普遍化したんだ」と。だから、国鉄闘争が波及してきた論理をもっと普遍化して考えなきゃいけないんだとね。これは全部、私たち自身も本気になって考えなきゃいけないことです。内容的にも実践的にも6・5集会を爆発的に成功させて、ここからの時代における新しい労働運動が出現するんだというくらいのものでしてこの国鉄闘争の集会を押し上げていかなければいけない。30年間の新自由主義が労働者に対して何をもたらしたか。今度の震災が引き起こした数万の労働者の死、原発がもたらそうとしている数百万、数千万に対する生命の危機に対して、資本主義とか、市場原理が一体何を労働者にもたらしたのかを含めて、それに対決して闘いたちあがるというような集会にしたいと思えます。

国家と資本による犯罪

その上で、大震災についての視点は、基本的に三つだと思

います。一つ目はこれは徹頭徹尾、国家と資本による犯罪なんだということ。だから僕らが立ち向かうべきは国家と資本なんだ。

しかもこれはこれからの問題です。もうすでに始まっていますけれども、これから労働者、農民、漁民に対する全面戦争が始まるということです。解雇、大失業時代が文字通りくる。そういうことまで含めて起きていくことは国家と資本による犯罪だということです。

二つ目は大恐慌情勢下での大震災だということです。

三つ目は、大震災を労働運動の視点からみないといけないんじゃないかと思えます。例えば連合という問題、実際、メーデーの中止も議論されている。これはね、この情勢の中で連合的なものすら全面的に破産したってことなんです。例えばいま連合だろうがなんだろうが、人を集めたらどうなるのか。原発

に対する怒りの声が間違いなく噴きあがります。連合はこれを統制できない。怒りの声だけは渦巻いている。でも労働運動は何もかもなくなっている。このときに私たちが登場することが決定的です。

それともう一点付け加えるならば、原発事故に対するちゃんとした視点をもたなきゃいけない。原発問題を徹底的に資本主義国家批判という視点から見なきゃいけないと思っています。原発問題が決定的にエスカラートしたのは1983年です。これはレーガンと中曽根がやったんだよね。日米新原子力協定というのが結ばれて、ここから安全なんか全く無視して、事故隠しや情報統制なんかやった。原発は新自由主義そのものです。

核心は新自由主義との対決

そして、これからのように闘いを作り上げていくかを考える上で、私たちが国鉄闘争全国運動にかけてきたものはなんだったのかということを再確認する必要があります。

私たちが国鉄闘争全国運動にかけてやっつけようとしたのは、4・9政治和解ということが日本の労働運動全体に深刻な危機をもたらすととらえたからです。そういう意味でいうと、今立ち向かうとしているもの、敵は全く同じ。これが第一だろうと思えます。

それと二点目に国鉄闘争全国運動にかけてきたものはなんだったかというところ、これから始まる闘いとしての攻撃についてだった訳ですよ。国鉄型の攻撃が全労働者にローラーをかけていくと。もうそれが始

尼崎事故弾劾！ 反合理化・運転保安確立
車両検修全面外注化阻止！ 1047名解雇撤回！
国鉄闘争全国運動で労働運動を甦らせよう！

尼崎事故弾劾！

4・23全国総決起集会

4月23日(土) 午後1時 JR尼崎駅北口広場
主催/動労千葉/全国運動・関西準備会

まっっているじゃないですか。社保庁、日航、郵政も。それがもつと大規模な形で起きるってことじゃないですか。これがまさに立ち向かうとしてきたことそのものです。

だからこのかん、私たちは16集会なんかを通して国鉄闘争全国運動には四つの面があることを確認しました。何よりもこの闘いというのは、国鉄1047名解雇撤回闘争にこだわって闘い

を続けるということ。これが第一です。第二には、この攻撃は核心的には新自由主義との対決ということになるわけで、階級的団結を取り戻して、これに立ち向かえる政治的力を取り戻さなければいけない。そのため運動だ。第三には、あらゆる産別のあらゆる職場に、労働組合の闘いを自らの力で行って出していくということ。それと解雇撤回闘争ですから、支援基金という四番目の性格。大震災の中で問われていることは規模は違いますが全く同じだろうと思えます。

だから、この状況の中での国鉄闘争ということは、一言でいえば階級的労働運動を私たちの手でもう一回この事態の中で一から作り直す。この一点にだけ闘いをやりたいと思えます。

震災に対する回答はわれわれの手で階級的労働運動を絶対的にこの状況の中に甦らせてやるんだということです。これ以外に脇目もふらない。そういう構えで6・5集会を大成させましょ。



昨年6・13に開催された全国運動スタートの集会。1635人が集まった

首都圏の呼びかけ人で緊急会議

「国鉄闘争の追求してきた論理を普遍化」 「資本と国家の犯罪だと正確にとらえる」

●山本弘行（動労千葉を支援する会事務局長）

動労千葉が3月14日付けで緊急声明を出して、すぐ英訳して世界中に訴えた。非常に大きな反応がありました。ブラジル、アメリカ、フィリピンなど非常に反応が早いです。

日本だけの問題じゃなく、海外の場合ほとりわけ原発です。ワシントンタイムズは、すごい写真を出している。避難所に遺体が並んでいる写真を出して、日本の新聞ではまったく見ない写真が出た。初期の段階から放射能がどういふ形で世界に伝播していくかというシミュレーションが出ています。外から日本を見る情報のほうが正しいんですよ。そういう中で、日本の闘う労働組合の運動、とりわけ全国運動にもすごい注目が集まっている。

●伊藤晃（日本近代史研究者）

いま私たちが直面しているのは、日本社会そのものが壊れかかっている、民衆の生活を再建しなければならぬわけなんです。けれども、それは、これまでの社会的な力という意味から言っても、日本の勤労者という意味から言っても、労働者の権利、労働者の生活をどう再建するのかを大きな視点として持たな

いと、これは資本主義の再建になっちゃう。そういう感じがします。

国鉄闘争という場合、その国鉄闘争の論理というものを、今度の問題で普遍化した。企業再建に結びついちゃいけない。企業再建という形で進んじやいけない。だからその意味では、敗戦の時の企業再建、日本資本主義の再建という形で大きな流れが進んじやった。それに対して企業の責任をどう追及するか。そういう形で国鉄闘争の追求してきた論理を普遍化していくことを考えるべきなんだろうと思う。

●鎌倉孝夫（経済学者・埼玉大学名誉教授）

この大災害のきっかけは自然現象です。けれども、その後の災害は、津波にしても、原発は特にそうですけど、いわゆる人災。もっとずばり言うと、資本と国家の犯罪だということですよ。そのところを正確にとらえたほうがいい。

労働運動は、この大変な非常事態だから、国労（4者4団体の見解）も見ましたけれども、やっぱり休戦しなければいけないという方向に追い込まれている。結局、この大災害は、ある意味では戦争状況と同じで、こ

れを体制側は逆用して、利用して、一言で言うとな国家総動員の方向に持ってきつつある。だから、われわれがその危険性を明確にとらえないとそういう方向に行きかねない。

そういう状況の中で、僕らはそういう動きに対して、どういふふうに対抗していったらいいのか。もう方向は、この原因、よつするに国家と資本の犯罪を転換させなければいかんという戦略方向を明確にしなから、具体的はどうするのか。民衆の連帯が最後の砦だということは明確だと思っても、それさえも国家は利用しますから。格好良く言うと、本当に収奪者を収奪するということに向けていかなければいけない。

●花輪不二男（世田谷地区労働組合協議会顧問）

歴史は繰り返されるんで、やはりこの危機管理を利用させてはならない。まずわれわれが警戒しなければならぬことだと思ふ。

私たちの運動は当面は被災地に対する救援ということで対応せざるを得ない。しかし、その救援の中で、次に打つ手を考えなければならぬ。やはり声を上げていかざるを得ない。その時におそらく襲いかかってくる

弾圧に対しても、われわれは対処しなければならぬ。

こういう状況の中でおかつ労働協約に手を染めていくことになれば、もう際限のない労働者の権利喪失につながっていくし、低賃金につながっていく。ここでこれに反対するかどうか

が問われる。労働組合の使命だと思えます。

●金元重（韓国労働運動史研究家）

労働組合としての対応は、ニュースとか新聞で見ている限りでは出てこないんですよ。原発で実際に復旧の作業をやっているのは東電の下請けとか孫請けですよ。被曝させるような労働条件を労働組合として全然チェックしてないことがどう

かで言われてもいのに、それを言わない。日本の労働組合はこういう時に、自分たちの仲間を守る、労働条件を確保するということのセンスが本当にないんだなと感ずる。

国鉄分割・民営化問題の根底にあった新自由主義的なイデオロギーと、今回の大災害の背景にある民営化なり効率化という問題の、根の同一性みたいなものを強調することによって今回の事態をどう見るかという視点を強調するというのが必要だ。

全国運動・栃木を結成

東海支援する会の結成集会

◎栃木

3月19日、国鉄闘争全国運動・栃木の結成総会をかちとりました。「準備会」として討論を重ね、「集会」としては6月に別途行うということで、今回はいわば「内輪」の総会として開催しました。大震災でカソリンがなく車が使えない人も自転車などで結果し、人数こそ少ないですが、この震災の中でこそ国鉄闘争を訴え、組織していくことが確認されました。

栃木での呼びかけ人になってくる青年労働者や、分割・民営化当時から国鉄闘争を担ってきたJMIU日本信号支部を含め

て10名が参加し、代表呼びかけ人のあいさつ後、動労千葉を支援する会事務局長の山本弘之さんの提起を受けました。

山本さんは、過去の「動労千葉を支援する会」運動の経過といきさつ、今回の「大運動」についての経過などとともに、今回の大震災が新自由主義の結果であること、そしてその新自由主義は国鉄分割・民営化から始まったこと、したがって国鉄闘争は大震災に対する闘いでもあることが提起されました。

規約（要綱）についての検討、その要綱をどうするか、ということを含めて山本さんへの

質問、討議を経て、全体で結成を確認しました。

重要だったのは、この運動の主力を担っている「とちのきユニオン」の青年労働者の提起で、結成総会の後に直ちに街頭宣伝を行ったことです。1時間足らずの短い街頭宣伝でしたが、今回の震災問題、原発問題とともに翌日の3・20イラク反戦8周年の渋谷デモも訴えました。

総会の中の論議でも出されていましたが、この大震災の中でこそ絶対に運動を大きくし、物販や基金運動を通じて会員を増やしていくという思いを全体が強くしました。（投稿）

◎東海

大震災の翌日3月12日、四日市市総合会館で、支援する会事務局長の山本弘之さんを講師に招いて、「国鉄闘争の火を消すな！ 解雇撤回・非正規職撤廃！ 戦争止めよう！ 11春闘勝利！ 3・12動労千葉を支援する会・東海結成集会」が三重、岐阜、愛知の仲間20名を結集して開催されました。

参加者から「国鉄闘争全国運動が講演ですっきりと分かった（民間）」「動労千葉や国労共闘が1047名解雇撤回を闘っているのはすごい（民間）」「尼崎事故は国鉄の闘いが解体されたのが原因です。私の学校も国鉄民営化と同じになっており闘いたい」（教労）などの発言がありました。

支援する会・東海の事務局長が要綱を発表し、自分が先頭で会員拡大をしていくと発言し、全員の手で確認されました。（投稿）

動労千葉鉄建公団訴訟の次回結審ゆるすな！

◆5・18動労千葉 鉄建公団訴訟第27回公判

5月18日（水）午後1時30分から

東京地裁527法廷

動労千葉争議団の江口治男さん、塩崎昭広さんの証言予定

*当日11時30分 日比谷公園・霞門集合。

◆4・26鉄道運輸機構訴訟 再開第3回控訴審闘争へ

原告 小玉忠憲さん（国労秋田闘争団）

4月26日（火）午後1時30分から

東京高裁民事第14部係属 高裁104号大法廷にて